

添付資料: 今冬の電力需給見通しに関する報告徴収に基づく報告の概要

1. 原子力の再稼働がないとした場合の需給バランス

- 各H1需要(1日最大電力)における今冬の需給バランス(供給予備率)は、以下のとおり。
- ① 2014年度(冬季)の実績 : (1月) 9.3% (2月) 10.8%
 - ② 定着節電を織り込み、平年並み気温の場合 : (1月) 11.0% (2月) 12.7%
 - ③ 定着節電を織り込み、2011年度厳寒並み気温の場合 : (1月) 7.8% (2月) 9.6%

(単位: 万kW, %)

		1月			2月		
		①	②	③	①	②	③
H1需要		1,058	1,043	1,067	1,058	1,043	1,067
供給力	原子力	0			0		
	火力	1,018			1,024		
	水力	44			50		
	揚水	101	103	96	105	109	103
	地熱・太陽光・風力	1			1		
	融通	0			0		
	新電力への供給等	▲8			▲8		
合計		1,156	1,158	1,151	1,172	1,176	1,170
供給予備力		98	115	84	114	133	103
供給予備率		9.3	11.0	7.8	10.8	12.7	9.6

(注1) 定着節電は▲14万kWを織り込み。

(注2) 四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

2. 需要見通し

【今冬(2015年度)見通し(H1)] ※H1:1日最大電力 H3:最大3日平均電力

H1需要 (万kW)	前提および算定式等		【気温感応度】(単位: 万kW/°C)	
① 1,058	・2014年度実績	2014年度のH1需要	2015年度想定	▲15
② 1,043	・定着節電織り込み ・平年並み気温	[2015年度H3想定 1,024万kW] × [過去5年間のH1/H3比率 1.01845]	2014年度実績	▲15
③ 1,067	・定着節電織り込み ・2011年度厳寒並み気温	([2015年度H3想定 1,024万kW] + [2011年度厳寒影響 24万kW]) × [過去5年間のH1/H3比率 1.01845]	【気温関連データ】 (単位: °C)	
			過去10年間の 平均気温の平均値	2.2
			2011年度厳寒の 平均気温	0.2

【要因別影響(H3)](単位: 万kW)

・今冬(2015年度)見通し

・昨冬(2014年度)実績

2015年度 対2010年度		定着節電 の場合	2014年度 対2010年度		実績
2015年度想定		1,024	2014年度実績		1,026
2010年度実績		1,061	2010年度実績		1,061
差分		▲37	差分		▲35
気温影響		▲5	気温影響		1
節電影響		▲14	節電影響		▲16
経済影響		▲10	経済影響		▲16
離脱影響		▲8	離脱影響		▲4